

基本計画
協働・先導プロジェクト

第1章 環境共生「益子スタイル」の確立

第1節 ふるさとの川再生プロジェクト

まちを流れる小貝川や百目鬼川などをふるさとの川とし、子どもたちが元気に川で遊び、メダカやタナゴなどの水生生物の生息環境がいつまでも守られるよう、積極的に活動します。また、水や川を通して、環境への理解や人びととの交流を深めます。



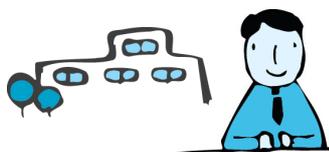
私たち一人ひとりとは…

- ・下水道への接続や浄化槽の設置に積極的に努めます。
- ・地域で行われている清掃活動や水生生物の観察等に参加します。
- ・アクリルたわしの利用など、生活排水の浄化に努めます。
- ・川や水辺の遊びや楽しさを子どもたちに伝えます。
- ・河川浄化に取り組むボランティア活動に参加します。



地域の住民は…

- ・ふるさとの川委員会に積極的に参加します。
- ・ふるさとの川フェスティバルを開催し、川や環境の大切さを啓発します。
- ・協力して清掃活動や水生生物の観察等を行います。
- ・小学校での水生生物調査等、モニター活動に協力します。
- ・水や川を通じたさまざまな交流活動に参加します。



行政は…

- ・ふるさとの川委員会に参加、支援します。
- ・定期的な水質調査の実施や環境保全活動の場の提供をします。
- ・地域での取組がさらに拡大、充実するよう、住民への参加の啓発や参加しやすい環境づくりを推進します。
- ・計画的かつ効果的な取組が実施できる仕組みをつくります。

第2節 ごみダイエットプロジェクト

環境への負荷がかからない生活をめざし、3R*活動の実践により、ごみの減量化、資源化、処理の効率化を進めます。そして、資源循環型社会への転換に向け、地域一体となった取組を展開します。



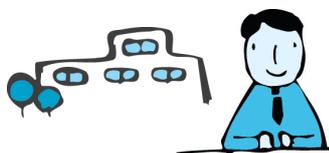
私たち一人ひとは…

- ・ごみの分別やリサイクル活動を徹底します。
- ・水切りによる生ごみの水分減量や生ごみの堆肥化に努めます。
- ・マイバッグを利用し、レジ袋を削減します。



地域の住民は…

- ・自治会等による紙ごみ等の資源回収に参加、協力します。
- ・ごみの資源化を推進するイベントを開催し、地域全体の啓発につなげます。
- ・(事業所) 生ごみを堆肥化施設へ搬出するなど、資源化に取り組みます。



行政は…

- ・住民や事業所等に対するごみ分別の指導や支援を実施します。
- ・公共施設での紙ごみの資源回収を徹底します。

※3Rとは

ごみを減らす(リデュース)、繰り返し使う(リユース)、資源として再利用する(リサイクル)の頭文字をとった言葉。環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会を形成するための重要な標語であり、考え方です。

第3節 里山モデル形成プロジェクト

貴重な野生生物の生息域であり、環境学習や自然とのふれあい、レクリエーションのための貴重な場所である里山の保全に向け、モデル地区を選定し、心のよりどころとなる益子らしい里山づくりに取り組みます。また、花にまつまれた美しいまちづくりに関する活動を展開します。



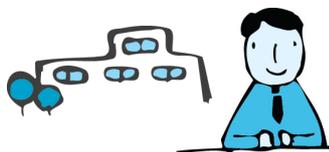
私たち一人ひとは…

- ・ 下草刈り等の里山の環境整備活動に積極的に参加します。
- ・ 自然観察や体験農業などを通じた環境学習に取り組み、里山への理解を深めます。
- ・ 花いっぱい運動やフラワーボランティアに積極的に参加します。



地域の住民は…

- ・ 里山保全に取り組む環境ボランティア組織を運営、支援します。
- ・ 農業などの体験学習に協力、参画します。
- ・ (事業所) 里山保全活動に積極的に参加、協力します。
- ・ 花いっぱい運動や花いっぱいコンクールに参加します。



行政は…

- ・ より多くの住民の保全活動への参加が得られるよう、啓発活動や環境づくりに努めます。
- ・ モデル地区の追加の検討や、里山保全を推進できる人材の育成を進めます。

第2章 「ましこの学び」と観光の融合

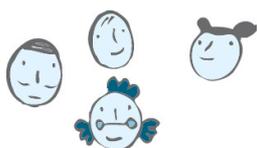
第1節 「ましこの学び」推進プロジェクト

住民が生涯を通じて自由に学び、個人の資質を高め、自己実現を果たしながら、その成果を地域に還元することで、住民と行政との協働による個性的な魅力あるまちづくりをめざします。



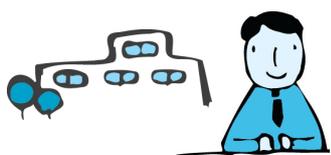
私たち一人ひとりとは…

- ・まちづくりに興味を持ち、自主教室やいきいき講座などの学習活動に意欲的に取り組みます。
- ・いきいき講座の講師を務めるなど、学んだ成果を積極的に地域づくり・まちづくりに活かします。



地域の住民は…

- ・地域ごとに連携し、研修会や共催事業など、一体的な生涯学習の推進をめざします。
- ・さまざまなテーマの地域づくり団体やボランティア団体の結成をめざします。
- ・（事業所／農家）体験学習の積極的な受入れを行います。



行政は…

- ・住民の学習ニーズに応えられるよう、学習機会の提供や内容の充実、情報提供に努めます。
- ・職員の資質向上を図り、いきいき講座の講師として活躍します。
- ・住民が学んだ成果を発揮し、まちづくりに貢献できる仕組みをつくれます。

第2節 体験・反復・通年型観光推進プロジェクト

益子焼をはじめ、農産物や豊かな自然、貴重な文化財等の益子の資源を活用し、年間を通じて益子での体験・暮らしを楽しんでもらえる観光プログラムを推進します。また、グリーン・ツーリズムに学びの要素を加えた、ラーニング＝バケーションを進めます。



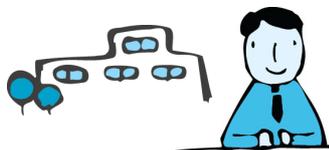
私たち一人ひとは…

- ・「おもてなし講座」などに参加し、おもてなしの意識を高め、訪れた人びとを温かく迎えます。
- ・観光ボランティアガイドや地域のイベントのボランティアなどに積極的に参加します。



地域の住民は…

- ・陶芸や農業、藍染など体験活動を提供できるよう、協力体制を整えます。
- ・地域のイベントを積極的に企画・運営します。
- ・観光ボランティアの拡大と充実に努めます。



行政は…

- ・さまざまな媒体を活用し、まちに関する体験活動やイベント等の情報発信を拡大します。
- ・新たな観光資源として地域のイベントを開催、支援します。
- ・ラーニング＝バケーションの企画・運営を支援します。

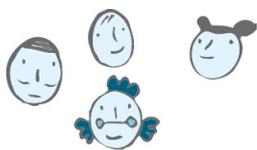
第3節 「ましこの学び」と焼きもの観光融合プロジェクト

益子への誇りと愛着を持った人材の育成を推進し、多くの住民がその知識を活かし、来訪者に対しておもてなしの案内ができるような体制をつくります。



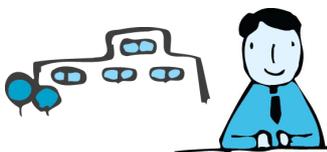
私たち一人ひとは…

- ・益子への愛着を持ち、益子の文化や歴史に対する理解をさらに深めます。
- ・観光ボランティアガイド養成講座や地域のイベントなどに積極的に参加します。



地域の住民は…

- ・体験活動の受入れを行います。
- ・新たな観光資源の開発とともに、隠れた益子の資源の発掘と発信に努めます。
- ・来訪者に対し、益子焼や益子の名所、文化財などについてわかりやすく説明します。



行政は…

- ・来訪者とのコミュニケーションによる真のおもてなしができる取組を支援します。